

文化庁委託「令和4年度日本語教育人材の研修プログラム普及事業」
 令和4（2022）年度 地域日本語教育コーディネーター研修
 実施・募集要項

一般社団法人 多文化社会専門職機構

1. 目的

地方公共団体、国際交流協会、地域の日本語教室等で日本語教育プログラムの編成・実施及び日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との連携・調整に携わっている人を対象に「地域日本語教育コーディネーター」（「5. 対象者」で定める人をいう。）に必要な資質・能力について理解を深め、その向上を図ることを目的とした研修を開催する。

2. 主催

一般社団法人 多文化社会専門職機構（略称：TaSSK／タスク）

本研修は、文化庁による「令和4年度日本語教育人材の研修プログラム普及事業」を受託し実施する。

3. 開催地

東日本地域及び西日本地域のいずれかを選択

※ 研修はオンライン（ビデオ会議システムを利用）で実施します。ただし、フォローアップ研修（2022年10月21日実施）は対面（東京都内で実施）で実施します。

※ 基本的に申込者の実践地域に基づき、東日本地域または西日本地域のいずれかを選択ください。ただし、実施スケジュール（「4. 研修期間」参照）での受講が難しいなどの事情がある場合には、その限りではありません。

4. 研修期間

東日本地域・西日本地域で各3日間及び動画視聴

（対面またはオンラインによる研修3日間、及び講義の動画配信視聴が2日間相当）

○ 東日本地域

夏期研修Ⅰ 【必須】	期間： 令和4（2022）年7月15日（金）～8月23日（火） 内容： オンデマンド配信による講義動画の視聴 ※ 東日本・西日本地域共通
夏期研修Ⅱ 【必須】	期間： 令和4（2022）年8月24日（水）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
実践活動期間	令和4（2022）年9月～令和5（2023）年2月 各自の課題設定・実践活動計画に基づく活動期間
フォローアップ研修※	期間： 令和4（2022）年10月21日（金）10：30-17：00 場所： NATULUCK 神保町（東京都千代田区神田小川町）
秋期研修 【必須】	期間： 令和4（2022）年11月9日（水）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
冬期研修 【必須】	期間： 令和5（2023）年2月7日（火）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）

※ フォローアップ研修の参加は必須ではありませんが、原則として参加を推奨します。

○ 西日本地域

夏期研修Ⅰ 【必須】	期間： 令和4（2022）年7月15日（金）～8月23日（火） 内容： オンデマンド配信による講義動画の視聴 ※ 東日本・西日本地域共通
夏期研修Ⅱ 【必須】	期間： 令和4（2022）年8月25日（木）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
実践活動期間	令和4（2022）年9月～令和5（2023）年2月 各自の課題設定・実践活動計画に基づく活動期間
フォローアップ研修※	期間： 令和4（2022）年10月21日（金）10：30-17：00 場所： NATULUCK 神保町（東京都千代田区神田小川町）
秋期研修 【必須】	期間： 令和4（2022）年11月10日（木）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
冬期研修 【必須】	期間： 令和5（2023）年2月9日（木）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）

※ フォローアップ研修の参加は必須ではありませんが、原則として参加を推奨します。

5. 対象者

次の全てに該当する人で、地方公共団体（都道府県及び市区町村（教育委員会を含む））、国際交流協会※、または社会福祉協議会が推薦する人

- (1) 原則として、日本語教育に関する専門的な教育を受け、十分な経験（地域日本語教育分野での経験が3～5年以上を目安とする）を有すること。
- (2) 地方公共団体・国際交流協会・大学、日本語教育機関、NPO法人等において日本語教育プログラムの編成及び実践に携わっていること。
- (3) 地域日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との調整に携わっていること。
- (4) 「4. 研修期間」で【必須】とする全ての日程を受講可能であること（フォローアップ研修を除く）。
- (5) 研修への参加に当たっては、実践活動の場を有することを必須とし、本研修の実践活動について事前に代表者及び関係者の承諾を得られること。

※ ここで言う「国際交流協会」とは、①地方公共団体が設立した、②地方公共団体が事務局を務める、③地方公共団体から協会運営の委託等を受けている、④地方公共団体の施設の指定管理を行う法人及び団体のいずれかに該当し、かつ地域における国際交流、多文化共生、外国人支援等に関する事業を行うものを指す。

なお、平成22～令和3年度「地域日本語教育コーディネーター研修」を受講した人は、夏期研修Ⅰ（オンデマンド配信による講義動画）の視聴およびフォローアップ研修（「4. 研修期間」参照）への参加を申込みすることができる。（申込み方法等については、後日お知らせします。）

6. 定員

原則として東日本地域・西日本地域で各25名（本研修の目的等を考慮の上、選考を行う。）

7. 内容

別紙のとおり

8. 経費負担

本研修の受講は無料とするが、研修受講に要する旅費、滞在費等は受講者の負担とする。

9. 修了要件等

- ・ 本研修の修了については、研修への出席状況及び発表・レポートなどで総合的に評価し、決定する。
- ・ 修了者には修了証を授与するとともに、修了者一覧を文化庁および多文化社会専門職機構ウェブサイトに掲載する。

10. 申込み方法

- ・ 受講申込みは、個人ではなく、上記5に示した推薦団体ごとに受講申込書（様式1）を作成して、推薦団体が Email により下記まで申し込むこと。なお、受講申込書は Word ファイルのまま Email に添付し、送信ください。
- ・ 締切りは令和4（2022）年6月30日（木）必着とし、受講可否については、7月15日（金）以降の通知とする。
- ・ 応募時に記載された個人情報は、本研修実施のためにのみ利用する。

11. 応募書類

地域日本語教育コーディネーター研修受講申込書（様式1）

12. 問合せ・申込み先

一般社団法人 多文化社会専門職機構（担当：有田・吉田）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター6F内

Email：nihongo@tassk.org

TEL：090-9608-5426

※ この電話番号は、文化庁委託「令和4年度日本語教育人材の研修プログラム普及事業」に関する多文化社会専門職機構の窓口専用番号です。

本研修に関するお問合せは、基本的に Email にてお願いいたします。電話でのお問合せには、回答まで時間を要する場合や、Email で回答させていただく場合があります。

研修内容

○ 東日本・西日本地域共通

夏期研修 I	令和 4 (2022) 年 7 月 15 日 (金) ~8 月 23 日 (火) オンデマンド配信による講義動画の視聴
講義 1	多文化共生施策における地域日本語教育① 日本語教育に関わる国及び地方公共団体の施策を把握する。 講師：文化庁国語課
講義 2	出入国管理施策及び多文化共生施策 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と、外国人住民の国籍・在留資格等の動向を把握する。 講師：出入国在留管理庁
講義 3	多文化共生施策における地域日本語教育② 地域日本語教育をめぐる政策的課題について検討・整理する。 講師：野山広（多文化社会専門職機構・国立国語研究所）
講義 4	地域日本語教育における教材活用 地域日本語教育における教材について、特にコロナ禍の状況をふまえオンライン学習で活用できる教材について紹介する。 講師：文化庁国語課・国際交流基金
講義 5	地域日本語教育の体制整備に向けたコーディネーターの役割① 地域日本語教育のプログラムデザイン、体制整備に求められるコーディネーターの役割・専門性について考察する。 講師：菊池哲佳（多文化社会専門職機構・仙台観光国際協会）
講義 6	地域日本語教育の体制整備に向けたコーディネーターの役割② 地域日本語教育活動に求められる組織マネジメント、ネットワーキング、ファンリレーション等について考察する。 講師：菊池哲佳（多文化社会専門職機構・仙台観光国際協会）
講義 7	日本語教育に関わる人材の育成① 日本語教育人材の役割・専門性について整理する。 講師：伊東祐郎（多文化社会専門職機構・国際教養大学専門職大学院）
講義 8	日本語教育に関わる人材の育成② 日本語教育人材に対する研修の企画・立案に必要な観点について学ぶ。 講師：伊東祐郎（多文化社会専門職機構・国際教養大学専門職大学院）
講義 9	地域日本語教育活動における情報の管理① 地域日本語教育活動に必要な効果的な広報について学ぶ。 講師：土井佳彦（多文化社会専門職機構・多文化共生リソースセンター東海）
講義 10	地域日本語教育活動における情報の管理② 地域日本語教育活動における個人情報などの観点からの留意点、著作権に関する情報を学ぶ。 講師：我妻潤子（東京藝術大学非常勤講師・株式会社テイクオーバー知的財産アナリスト）

※ 内容は一部変更となることがあります。

○ 東日本地域

夏期研修Ⅱ	令和4(2022)年8月24日(水) 10:00-17:00
演習1	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域日本語教育コーディネーターによる実践事例を基に、グループ毎に課題設定等や計画についての分析を行う。 地域課題の解決に向けて地域日本語教育プログラムの策定を含めた実践計画を作成する。
フォローアップ研修	令和4(2022)年10月21日(金) 10:30-17:00
講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 地域日本語教育に関する国の施策の方向性などについて理解を深める。 演習を通じて修了年度や地域を超えたネットワーキングを図る。
秋期研修	令和4(2022)年11月9日(水) 10:00-17:00
演習2	<ul style="list-style-type: none"> 演習1(夏期研修Ⅱ)で設定した実践課題について中間報告を行い、他の受講生やファシリテーターからコメント・助言を受ける。 活動への取り組み方やコーディネーターの役割について再度見直しを行った上で、実践の継続及び冬期研修で発表を行うための準備をする。
冬期研修	令和5(2023)年2月7日(火) 10:00-17:00
演習3	<ul style="list-style-type: none"> 実践活動の成果を発表し、相互に学ぶ。 演習1(夏期研修Ⅰ)、実践活動、演習2(秋期研修)を通して学んだコーディネーターに必要な能力について理解を深める。

進行：菊池哲佳・高柳香代・土井佳彦・長尾晴香（多文化社会専門職機構）

※ 日程の細部は事情により変更する場合があります。

○ 西日本地域

夏期研修Ⅱ	令和4(2022)年8月25日(木) 10:00-17:00
演習1	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域日本語教育コーディネーターによる実践事例を基に、グループ毎に課題設定等や計画についての分析を行う。 地域課題の解決に向けて地域日本語教育プログラムの策定を含めた実践計画を作成する。
フォローアップ研修	令和4(2022)年10月21日(金) 10:30-17:00
講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 地域日本語教育に関する国の施策の方向性などについて理解を深める。 演習を通じて修了年度や地域を超えたネットワーキングを図る。
秋期研修	令和4(2022)年11月10日(木) 10:00-17:00
演習2	<ul style="list-style-type: none"> 演習1(夏期研修Ⅱ)で設定した実践課題について中間報告を行い、他の受講生やファシリテーターからコメント・助言を受ける。 活動への取り組み方やコーディネーターの役割について再度見直しを行った上で、実践の継続及び冬期研修で発表を行うための準備をする。
冬期研修	令和5(2023)年2月9日(木) 10:00-17:00
演習3	<ul style="list-style-type: none"> 実践活動の成果を発表し、相互に学ぶ。 演習1(夏期研修Ⅰ)、実践活動、演習2(秋期研修)を通して学んだコーディネーターに必要な能力について理解を深める。

進行：菊池哲佳・高柳香代・土井佳彦・長尾晴香（多文化社会専門職機構）

※ 日程の細部は事情により変更する場合があります。